

第4回 これからの図書館を考える市民ワークショップ 実施報告

- 開催日時：令和6年2月11日（日） 13:30～15:30
- 開催場所：西駅交流センター 3階ホール
- 参加者：32名（うち司書3名）20代～70代（男性12名、女性20名）
- 傍聴者：7名
- 内容：～これからの図書館についてみんなで考えよう～
テーマ：「図書館運営に携わるならこんなことがしたい！」
 - 前回の振り返り
 - 活動紹介（まちライブラリー（アトリエ meguri 重本晋平氏））
 - 友の会事例紹介（市内活動団体からの紹介、他市事例紹介）
 - グループワーク（図書館井戸端会議）
- 図書館再編アドバイザー：常世田 良氏（舞鶴市図書館協議会副会長）
- ファシリテーター：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）
- まちライブラリーの活動（重本氏）のお話を聞いて
【参加者からの質問及び回答】
※回答は、重本氏より。（会場でお答えできなかった分も含む。）

Q.誰の利用が一番多い？大人の方も利用されていますか？写真では子どもがよく写っていたが・・・。

A.小学生など子ども達の利用が一番多いが、大人の利用もある。地域の方ではないが、ヘビーユーザーもいて定期的に利用してくださっている。

Q.実際に来ている子どもさんの感想を聞きたい。

A.「巣箱型図書館に色塗りして愛着が湧いている」「色塗りしたこと覚えてるよー」という感想を聞いた時は嬉しかった。その子たちが本箱を利用してあげていることが嬉しい。

Q.実際の利用数（月）が知りたい。本は無くならないですか？

A.本が無くならないの？大丈夫なの？とよく聞かれるが、今のところ無くなることはほとんどない。最初は不安だったが、近所の方の利用がほとんどなので、町内のコミュニティの中での安心感もあり、乱暴に扱われることもない。

Q.防犯はどうなっていますか？

A.家の敷地内であり、同じ町内には子どもが遊ぶ公園がなく、公会堂や神社など限られたところで遊んでいるため、逆にまちライブラリーが安全な場所になっている。

Q.やや営利目的（お客さんが来る）としているような（喫茶店など）まちライブラリーの取り組みも知りたい。

A.サクラティエ（絵本カフェ）の中にも寄贈された絵本が置かれており、カフェの中の絵本と外の文庫と両方楽しんでもらえている。カフェが閉まっても、外の本を読

んでもらえる。

Q.不要になった教科書をあげるといった取り組みはある？（高校の教科書とか高価なため、持って帰っていいよコーナーとか）

A.今のところはないが、そんなコーナーが出来ても面白いなと思う。福知山市では、いらなくなった学生服のリユースをしている団体があるそう。教科書のリユースもいいアイデアですね。

Q.雨の日、雪の日はどうしていますか？

A.小屋の軒下に設置しているのと、文庫の屋根には防水シートを施しているの、よほどの嵐でない限りはそのままの状態。台風時など緊急時は、小屋の中に避難することもある。

Q.公会堂前での利用者の年代は？リクエスト（こんな本ないですか？）はありますか？

A.小学生の遊び場になっているため、子ども達の利用が多い。自治会の行事や掃除で公会堂を利用されるときには、大人の方も文庫を覗いてくれているよう。リクエストはないが、地域の方が「この本を入れて」と寄贈してくださったり、わざわざ新刊の絵本を購入して、「子ども達に是非！」と持参いただいたこともある。

Q.まだまだ続けられそうですか？

A.続けていきたいです。「続けようと頑張る」というよりは、日常の風景として「そこにある」ことが大事だと思っている。あくまで無理のないように。楽しんで。本のある景色をこれからもつくっていきたい。

【報告を聞いての参加者の気づき】

- ・やりたいです。いや、やります！
- ・楽しそうです。やってみたい。
- ・人が来てくれるか。（自宅前など）
- ・本の管理について→気に入ったらマイ本にも。
- ・子どもが「たまる」スペースが欲しい気がする。
- ・まちライブラリーの経費、持続可能性
- ・不要になった本（絵本）は捨てがたいので、図書館でボランティアが交換会などできると良い。

➤ グループワークで出た意見（市民が携わる図書館運営について話し合おう）

	図書館の運営に参加したい	「本」に関連する市民活動をしたい
資料 (本)	<ul style="list-style-type: none">・本の修理・経験はありませんが、本の修理をしてみたい・古本の活用や修理はしてみたい・本の修理（方針については図書館で決めてもらわなければならない）・大人も楽しめる絵本を紹介したい・もどってきた本を片付けるボランティア・本の寄贈について受付管理または整理・駅、スーパーで返却→返却本を図書館へ・本の交換会	<ul style="list-style-type: none">・布の絵本を作りたい・読み終えた本の寄贈をしたい（子供達の本がメイン、マンガを含む）・持ってる絵本を寄贈・家庭でいらなくなった本の寄贈とその本の修繕・古い本やおもちゃを有効に利用できるように考えたい・除籍本など捨てずに声をかけてほしい。リサイクルしたりできるから・市民の不要本を図書館で販売して、新しい本の購入費用に・除籍本および寄贈本の販売

	<ul style="list-style-type: none"> ・書架整理 ・除籍本の販売ボランティア→売り上げを寄付（図書館へ） ・協力活動の一つは行いたい（本の整理など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・除籍本の売却→ボランティア活動の資金 ・古本・寄贈本などリユース。売上金を活用
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、紙しばい ・絵本のよみきかせ ・おはなしを通じて子供達と交流したい ・ブックスタート手伝えるかも ・子どもが参加できる本のイベント（ビブリオバトルなど）を手伝いたい ・婚活イベントをする ・イベントの企画、読書会グループなど ・イベントの企画、受付など出来ます ・続 読書感想会 ・スキル保有者の出張講座 ・読書会 ・大人の読書会→おすすめ本の読み合わせ ・色々な講座の開催と企画（PCとか会計とか） ・図書館が行うイベントにあわせて、一緒にイベントの企画を行いたい ・子どもの「写生大会」「絵画展」などもやってみたい。（図書館を使って…）そのための助力はしたい ・図書館を利用したワークショップ等はやってみたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の交換会 ・本の交換会「リユース」なども手伝えると思いますが… ・絵本の楽しさを語る、お母さん・お父さんの会 ・よみきかせボランティア ・朗読ボランティア ・まちライブラリーは実践してみたい ・まちライブラリーをやってみたい。手持ちの本をもちよって売る一箱本屋とかも ・行きにくくなる人、まちライブラリー増えること重要 ・[古民家ライブラリー]春から ・本に親しむきっかけとして私設図書館の取り組みは楽しそう→子供が本にふれるきっかけになると思います ・集まるきっかけとして私設図書館はおもしろい ・子供達と一緒にイベントに参加したい ・個々の得意分野を活かした活動や取り組み ・市民講師による多文化・多種講座の開設…少人数受講、文化・理科問わず（自らが宣伝、募集。スペース確保）個人的にやりたい ・市民講師。いろんな人に登録してもらおうと良い ・学外学習会（夜間コース） 年12回～16回程度の教養講座の開設を図書館で。一つのテーマを年間通じて学ぶ場を創りたい
施設・展示	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 設置。充電器設置。飲み物・食べ物の持込可！ ・舞鶴市内企業紹介ブース ・〇〇したい人、〇〇できる人を繋げるコーナー ・舞鶴がんばってる人紹介ブース ・市のイベントと関連した展示をする ・四季折々の環境づくり。季節感を大切にす 掲示等 ・市民による音楽活動拠点 ・市民に演劇活動拠点 ・経営者発信ブース ・ボランティア団体の活用が出来るところが必要である ・個別自習室を設定し、それを有料で運営したい（資金あつめ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画、書、版画などの展示（常設）コーナーがあれば良い（入場者の動線上に設置すること）（和歌山海南市立図書館にて） ・面白い本の紹介コーナー

	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェの併設をレンタルカフェにして、市民の参加を導く→出店（市内で）される時は、市から補助金が出るとよい ・美術が好きなので、新図書館には、市民の文化活動の場として、いろいろな作品を展示できたり、集うことが出来る「ふれあいギャラリー」などのスペースが欲しい。そのためのボランティア・サポートは協力したいと思っている。現在も赤れんがサポートをしているが… 	
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の普及広報←使ってる人は少ない ・SNS でイベントあった発信→参加者に SNS 発信 ・市外の方へ舞鶴の図書館宣伝を積極的に行いたい ・図書館の掲示板を運営→サークル募集や講座企画を募集する 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴情報の発信をしてみたい
建物管理	<ul style="list-style-type: none"> ・建物周辺の草刈りボランティアはさせて貰いますよ！ ・ボランティアグループによる定例会 ・野菜作りグループなど、趣味の探求グループづくり ・図書館のまわりの公園（あって欲しい！）を、いつもステキにするサポーター ・オープン時のお手伝いをしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のできることで参加したいと思っている。草とりとか本の整理はできるのでは
分館	<ul style="list-style-type: none"> ・分館の資料の整理 ・分館にも『おはなし』を届けたい！ ・分館においては地域のよさを生かすこと（食や伝統芸能など）それにかかわる図書コーナーなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館どこでも返してい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地よりレファレンス対応したい(zoom 等) ・学生さんによる子供の勉強をみる場 ・働く若手育成、キャリア育成 ・舞鶴図書館協会（舞鶴の図書館が集って、学校・高専・引き揚げ等が話し合う場が必要） ・現状、司書さんが毎日の業務で、良い点・改善していきたい点を聞かせてほしい ・図書館の運営は、たずさわる職員・司書にかかっていると思います ・学校に行きにくい子に図書館に行ったら登校とみなすというのを聞いたことがあるが、そういう仕組みができないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・高専・引き揚げの資料。地域の中で協力できる中央図書館の役割 ・個々のよい活動をしているグループを1つにまとめる必要がある。図書館がその役を ・自分もやってみたいが… コミュニティとしての小さな図書館の取り組みは有効だと思う カフェには図書館がある→病院には本がある→身近には本がある

- ・司書の資格を活かせる仕事
- ・高専と連携する
- ・図書館からしてほしい事を言ってほしい
- ・現在の図書館司書さんの市民参加・ボランティアに求めるお話を聞きたい
- ・司書さん達と意見交換とかしてみたい
- ・『図書館手つだい隊!!』できること、司書さんが困っていること等なんでも請け負いたい!
- ・手伝いが必要な事など知りたい。(こちらから言いづらい。言ってもいいのかな…と考える。)
- ・図書館業務ができるボランティアを育ててほしい(講座とかイベントとか、大人のための職場体験)
- ・グループに所属して…まではできませんが、空いてる時間にやれることをやりたい
- ・綾部市の
 - ① 小さい箱型の図書館は、地域に根差したすばらしい図書館です
 - ② 小さい、大きいは関係ないように思う

<ワークショップの様子>



